

第4回ねごろ医用実学研究会講演会

日時：平成26年3月4日（火）13:00～

場所：生物理工学部 3号館2・3階アリーナ



(国宝)根来寺大塔

メインテーマ

『臨床工学技士の職域の拡大を考える』

これからの臨床工学技士は、臨床だけではなく、企業や行政など広く職域を広げるべきであると考え、当該テーマを設定しました。今後10年を展望し、職域の拡大に関する理解を深めましょう。

【基調講演】 東京女子医科大学臨床工学科
教授 峰島三千男 先生

『臨床工学の現状と未来』

科学技術の進歩に伴い新規医療機器が次々と開発され臨床応用されている。これらハイテク機器の操作・管理は主に臨床工学技士によって行われる。系統だった工学教育を受けた臨床工学技士に求められる役割は今後さらに拡大するであろう。将来の医療に臨床工学は不可欠な領域であり、さらなる発展が期待される。

【講演】

1. (独)医薬品医療機器総合機構 医療機器審査第三部 審査専門員 武内彬正氏

『今後の臨床工学技士の職域拡大について～医療機器審査の立場から～』

医療機器を総合的に学んだ臨床工学技士(CE)が果たす役割や将来像について、医療機器の審査業務を説明しながら、CEの在り方を語る。

2. 旭化成メディカル(株) 血液浄化システム技術部 課長補佐 宮川浩之氏

『企業で活躍する臨床工学技士 活躍の場はいろいろある！！』

臨床工学技士(CE)の活躍の場は医療機関はもとより、大学・専門学校教員、企業と多彩になってきている。これからのCEの活躍の場と可能性について語る。

3. ニプロ(株) 国内事業部 CVSビジネスユニット 係長 太田元之氏

『臨床工学技士は企業で何ができるのか』

企業で働く臨床工学技士がどのような業務をしているのかは想像し難いところである。現実として何をしているのか、これから何をできるのかを考える。

* 講師の先生方は全員、臨床工学技士の資格をお持ちです。

URL: <http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/negoro1/>

■ 参加料：講演会は無料（ただし、講演会後の懇話会に参加される場合は500円）

■ 申込方法：所属・職名・氏名・連絡先（学生の場合は、学年・学籍番号・氏名）・「講演会・懇話会」の参加の有無を明記の上、下記の事務局までメールにてお申し込み下さい。

（〆切：2/24（月）午後5時まで）

【事務局】担当 黒田（E-mail: kuroda@waka.kindai.ac.jp）

代表幹事：古蘭